

市民の声



川辺町古殿

蘭田 眞弘

「ふるとんお助け隊」

私は古殿地域で高齢者や障がい者の困り事の手助けをする「ふるとんお助け隊」という安価の有償ボランティア活動を展開しています。

令和元年の5月からスタートして、今年で3年目になります。

活動は主に庭の草刈りや家の周りの片付け、生ごみや資源ごみの持ち出しのほか、無

償で買い物や病院への送迎も実施しています。

ただ私の身分は民生委員です。民生委員は活動の中で報酬を受けることはできません。

そのため、地域住民グループとして仲間5人と活動しているところです。有償としたのは急激な少子高齢化の中で山

積みする福祉の課題に持続的に取り組んでいく必要性と、地域の様々な問題が活動の重

荷となることで、民生委員のなり手不足につながっていることへの対策でもあります。

有償という形ではありませんが、活動で得た益金は様々な形で地域に全額還元しています。

近年はこのような活動が南

九州市の各地に広がりを見せているようです。

しかし、私たちの活動には限界があります。行政や議会には私たち住民グループの活動を側面から支援していただき、高齢者や障がい者がいつまでも生き生きと暮らせる質の高い施策をこれからも打ち出していதாகよう、切に願っています。



新しい広報編集委員会の紹介

私たち6名が広報編集委員として、今回新たにスタートしました。

今後も市民の皆様方に、わかりやすい議会だよりを届けるために、新委員一同努力して参ります。

委員長 川畑 実道
副委員長 大倉野由美子
委員 取違 博文
上赤 秀人
菊永 忠行
蔵元 慎一



編集後記

年が明けて初めての議会会だより、改めて新年のご挨拶を申し上げます。

小説「夜明け前」で知られる島崎藤村は、「学んで得る智」、「人と交わって得る智」、「自らの体験によって得る智」の「人の世には三智(さんち)がある」という言葉を残しています。先人に学び自ら学習し、人と出会って教えを請い、人生の喜びも悲しみもかみしめて生きる。

我がまちの先人、赤崎勇氏は「夢は必ずかなうわけではないが、追いつける事が大事」と言っている。

市民も市も夢を持ち、努力を積み重ねることを願う。(一部南風録引用)

(川畑実道)